

平成26年度入学試験問題

(推薦入試Ⅱ・社会人特別入試・帰国子女特別入試)

小 論 文

工学部 機械システム工学科(昼間主コース・夜間主コース)

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)書きにすること。

問 題

日本のものづくりは、適度な品質を持つ製品を比較的安価に大量生産することに優れていた。このようなものづくりの技術は、模倣が出来るために同等な品質でより安価な製品が国外で製造されて日本製品は、苦境に立たされている。そのためにオリジナリティのあるものづくりが待望されている。多くの製品のオリジナルは、日本発ではなくて日本のものづくりは、これまでにない製品を作る力が弱いのが現状である。例えば付箋紙や複写機のオリジナルは、アメリカで誕生・発展し、日本のものづくりは、それを改良した。

そこで模倣から脱却したオリジナリティのあるものづくりとは何かを考え、それを実現するためには何が必要なのか、志望動機や大学で学びたいことを踏まえてあなた自身の考えを600字以上、1200字以内で述べなさい。

平成26年度入学試験問題

(推薦入試Ⅱ・社会人特別入試・帰国子女特別入試)

小 論 文

工学部 機械システム工学科(昼間主コース・夜間主コース)

出題意図

この小論文の意図は、当学科のアドミッションポリシーにあるように、研究開発・製造に関する幅広い知識を有したものづくりが出来る技術者を社会に送り出すということに基づいている。ものづくりに関する日本の現状についてどのような認識と課題意識を持っているか、またそれらについての具体例や考えを論理的に組み立て、論述できるのかを総合的に審査する。